

北海道深川西高等学校

課程 全日制
 学科 普通科
 生徒数 461名

1 事業のねらい

本校は学校祭やコーラス大会などの生徒会行事が伝統的に盛んであり、部活動加入率も8割を超えるなど、多くの生徒が積極的な学校生活を送っている。しかし、近年、良好な人間関係を構築できずにストレスを抱え、保健室に来室する生徒が増加しており、その背景として、多くの生徒が友人関係や学習、部活動などへの不安を抱えているという実態がある。

こうしたことから、生徒のコミュニケーション能力の育成とともに教員の予防的・開発的教育相談スキルの一層の向上を図るため、ピア・サポート等を活用したコミュニケーション能力育成プログラムの実施する。

2 取組の経過

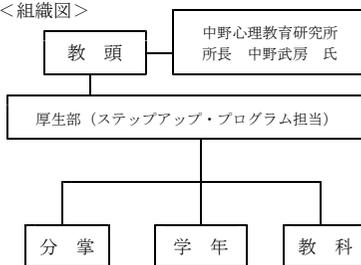
4月
 宿泊研修でのピア・サポートの導入

6月
 Q-Uテストの実施

9月
 教員を対象として、コーディネーターによるピア・サポートを活用した教育相談等におけるスキルについての研修会の実施

11月
 体育の授業において生徒を対象に、コミュニケーションスキルを身に付けさせること目指したピア・サポートの実施

<組織図>



3 主な取組の内容

- 1 宿泊研修におけるピア・サポートトレーニングの実施
- (1) 期日 平成22年4月30日(金)、5月1日(土)
 - (2) 会場 北海道立深川青年の家
 - (3) 講師 社会教育主事(深川青年の家)
 - (4) 内容
 - ・SGE(構成的グループエンカウンター)などのエクササイズ
 - ・ウォーミングアップ
 - ・「フラフープおとし」
 - ・学級ごとの活動と振り返り



2 校内教員研修会

- (1) 期日 平成22年9月30日(木)
- (2) 会場 深川西高等学校
- (3) 講師 中野心理教育研究所長 中野武房氏
- (4) 内容 「ピア・サポートの理論と実際」

3 教科に活かすピア・サポート研修会

- (1) 期日 平成22年11月10日(水)
- (2) 会場 深川西高等学校
- (3) 講師 中野心理教育研究所長 中野武房氏
- (4) 内容 「協同学習のすすめ」
 - ・保健体育の授業における協同学習
 - ・ピア・サポートを取り入れた授業の取組



4 吹奏楽局におけるピア・サポート活動

- (1) ねらい
 異学年集団の交流を深め、より良い人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治能力を育成し、自発的・自主的に活動する生徒を育成する。
- (2) 期間
 平成22年10月から平成23年9月(月1回1時間程、年間10回程度)
- (3) 対象生徒
 吹奏楽局生徒1年10名、2年8名の計18名
- (4) 指導者
 袖城(顧問教諭)、白戸(顧問教諭)、田中(養護教諭)



4 成果と課題

- 成果
 - ・2年連続で、在籍生徒の中には不登校生徒がいない。
 - ・中途退学者数は、昨年度と比べて半減した。
 - ・「多くの人と交流できた」「協力できたから、楽しくできた」など、生徒がコミュニケーションの大切さを体験できたことが大きな成果につながった。
 - ・教職員が生徒理解を深め、予防的・開発的教育相談スキルの向上を図ることができた。
 - ・ピア・サポートの概念が、教科での実践で推進されつつある。
- 課題
 - ・教職員のピア・サポートへのさらなる理解と実践に向けての取組が必要である。
- 次年度に向けて
 - ・今後とも、ピア・サポートの取組を計画的・継続的に実施するとともに、生徒へ還元し、生徒の「生きる力」を育むとともに学校の活性化に取り組む。
 - ・教職員への支援の実施に当たっては、他校との連携を図り、複数校の教員に参加を呼びかけるとともに、予防的・開発的教育相談の手法を用いたプログラムの普及啓発に努める。